



NEDOプロジェクトにおける アウトカム目標の在り方に関する調査 公募説明会

2026年6月25日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

事業統括部 統括課

目次

1. 調査の目的
2. 調査の内容
3. 審査基準
4. 提出書類
5. 提出期限・提出先
6. 提案にあたっての留意事項
7. 問合せ先
8. Q&A

1. 調査の目的

- NEDOの研究開発事業では、NEDOプロジェクトの研究成果が政策として何を実現するかを明確化し、対外説明、事業期間中の評価及び終了後の社会への波及を測る指標としてアウトカム目標を設定する。
- 現状のNEDOプロジェクトでは、設定指標として事業終了から10年以上先を見据えた市場創出効果や温室効果ガス削減量といった長期的な指標が中心となっている。
- 一方で、経済産業省をはじめとした政府機関が示している行政事業レビューシートにおいては、事業化数や上市数など、より短期的・直接的な成果指標が用いられており、同じアウトカム目標であっても、NEDOと他機関で、その位置づけや評価の時間軸に差異が見られる。
- このため、NEDOにおいてはアウトカム目標を評価軸として活用しているものの、その達成状況を客観的かつ一貫した視点・方法で評価が難しいことが課題となっている。
- 本調査は、国内外における様々な研究開発プロジェクトのアウトカム目標等について調査し、事例を比較・整理することで、NEDOプロジェクトに適したアウトカム目標の設定の在り方を検討することを目的とする。

2. 調査の内容

●調査項目

- (1) 国内外における類似プロジェクトに関するアウトカム目標の調査
- (2) ロジックモデルを含むアウトカム目標設定プロセスに関する調査
- (3) NEDOプロジェクトにおける適切なアウトカム目標の在り方に係る分析・提言

2. 調査の内容

(1) 国内外における類似プロジェクトに関するアウトカム目標の調査

- 国内外におけるNEDOプロジェクトに類する政府の研究開発プロジェクト、及び民間企業等が主体となって実施する研究開発・技術開発又はそれに係る事業(以下「対象プロジェクト」という。)について、150件以上抽出すること。なお、本調査は網羅性を目的とするものではなく、比較可能性及び示唆抽出を重視するものとし、NEDOプロジェクトとの類似性やアウトカム目標の特徴等の観点から、対象プロジェクトについてはNEDOと協議の上で選定することとする。
- 対象プロジェクトについては、初期段階において広く文献調査や公開情報等により俯瞰的に情報収集を行い、研究フェーズ(基礎研究、応用研究、開発研究、実証等)、事業スキーム(補助、委託等)、技術分野、主体(政府系機関、民間企業等)及び時間軸(短期・中期・長期)等の観点に基づき分類を行うこと。その上で、アウトカム目標として設定されている定量指標及び定性指標の性質を比較・整理すること。
- 設定されたアウトカム目標の達成に向け、各対象プロジェクトのマネジメント上の工夫(アウトプットからアウトカムへの遷移を促すマイルストーン設定、進捗管理、ステージゲートによる評価や計画見直しの考え方等)について、具体的な事例を整理すること。
- なお、各対象プロジェクトのうち政府系プロジェクトについては、当該国の政府の研究開発投資全体又は政府全体として掲げている目標において当該プロジェクトが担っている機能・役割について整理すること。その上で、当該プロジェクトに参画している各主体の役割、強み及び制約条件等がアウトカム創出に果たす寄与を分析すること。

2. 調査の内容

(2) ロジックモデルを含むアウトカム目標設定プロセスに関する調査

- 対象プロジェクトのアウトプット目標とアウトカム目標について、それぞれがどのような考え方・基準に基づいて設定されているか、また両者の関係性がロジックモデル等によりどのように整理・可視化されているかについて調査・整理すること。
- 研究開発の不確実性を考慮し、ロジックモデル上で「技術的な成功」と「事業的な成功」をどのように関連付け、評価等にどのように活用しているかを調査・整理すること。
- 設定したアウトカム目標やロジックモデルが事業途中で見直される場合の考え方について整理すること。
- (1)と併せて、研究開発事業の政策立案や制度設計を行っている関係機関と意見交換を設定し、アウトカム目標の考え方や設定背景について把握する機会を設けること。なお、意見交換の対象については、NEDOと協議の上で選定すること。

2. 調査の内容

(3) NEDOプロジェクトにおける適切なアウトカム目標の在り方に係る分析・提言

- (1)、(2)の調査内容を踏まえ、アウトカム目標の時間軸の置き方、指標の性質、定量化の考え方(試算方法や仮定の置き方等)について整理、比較を行い、評価等の観点も含めて、NEDOが担う不確実性の高い長期的な研究開発事業の特性を踏まえた、実効性の高いアウトカム目標の在り方について分析、考察すること。なお、アウトカム目標の設定に当たっては、全プロジェクトに一律の指標を求めるものではなく、研究フェーズや技術分野等の特性に応じた類型化を前提として整理すること。
- プロジェクト企画段階及び評価時における活用を見据え、当該アウトカム目標を設定する際の手順書(ガイドライン等)の策定に向けた方針及び論点を整理すること。

2. 調査の内容

- 調査期間

NEDOが指定する日～2027年3月31日まで

- 予算規模

2,000万円以下

3. 審査基準

- a. 提案の内容がNEDOの意図に合致しているか。
- b. 提案する調査内容に具体性があり、かつ最終的な目標・成果物が明確かつ妥当か。
- c. スケジュールが効率的で実現可能なものか。
- d. 提案する内容・方法に優れた独自性・優位性があるか。
- e. 本提案の遂行にあたり、役割分担を明確に示すとともに、NEDOの必要とする措置（経理、進捗管理、対外折衝・調整等）を適切に遂行できる体制を有しているか。
- f. 関連分野の調査実績を有するとともに、必要な知見・能力を有する研究員等を配置しているか。
- g. 予算の範囲内の積算額を提示しており、かつ調査の内容から判断して妥当な積算となっているか。
- h. 過去3年間の経営状態は良好であるか。

4. 提出書類

- 提案書類のチェックリスト
- 提案書
- 提案者情報
- NEDO事業遂行上に係る情報管理体制等の確認表及び対応エビデンス
 - ※「NEDO事業遂行上に係る情報管理体制等の確認表」はExcel形式に記入ください。
- 直近の事業報告書
- 直近3年分の財務諸表(原則、円単位:貸借対照表、損益計算書)

5. 提出期限・提出先

●提出期限

2026年7月3日(金)正午 まで

●提出先

電子申請システム「Jグランツ」上で、必要項目を入力し提出書類をアップロードした上で申請してください。

【Jグランツ公募ページ申請URL】

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDZvAMAX?wfid=a0XJ2000006pEUHMA2>

6. 提出にあたっての留意事項

- 「応募要件」を満たさない提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- Jグランツ上の申請は、提出期限を厳守ください。提出期限までに申請完了できなかった場合は、応募は受け付けできませんので、余裕をもって提出してください。
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。
- 応募者の責に依らないやむを得ない理由等(例:組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、GビズIDやJグランツ等の外部システムのシステムメンテナンスや障害発生等のシステム運営側の事情により申請ができない等)により、提出期限までにJグランツ上の申請が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。
- Jグランツ上にアップロードするファイルは提出書類ごとに作成し、一つのzip ファイルにまとめてください。なお、アップロードするファイル(PDF、zip等)にはパスワードは付けないでください。

7. 問い合わせ先

本公募に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先までE-mailでお願いいたします。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
事業統括部 統括課 間瀬、監物、坪井

E-mail:[jigyoutoukatsu_koubo\[*\]ml.nedo.go.jp](mailto:jigyoutoukatsu_koubo[*]ml.nedo.go.jp)

※E-mailは上記アドレスの[*]を@に変えて使用してください。

8. Q&A

No.	ご質問	回答
1	P.5の最後のパラグラフにある「制約条件」とは、具体的に何を意味するのか。	企業や大学など主体ごとに「担える部分／担えない部分」があり、そうした各主体の役割・強み・制約がアウトカム創出にどう寄与するかを分析する趣旨。
2	調査対象150件の中で、海外プロジェクトの割合の目安はあるか。	参考となりうるプロジェクトを広く調査する趣旨で設定しており、国内外のバランスは提案側に委ねる。
3	海外の調査対象国の想定はあるか。	欧州・は押さえることを想定。それ以外の地域は特に指定なく、提案側に委ねる。
4	調査対象150件について、幅広い制度から選ぶか、特定制度を深掘りするかは指定があるか。	特に指定なく、提案側に委ねる。
5	調査対象150件の中にNEDOプロジェクトは含めるべきか。	NEDOプロジェクトおよびその他を含めて150件以上選定してほしい。

8. Q&A

No.	ご質問	回答
6	アウトカム目標の設定根拠が公開されていない場合、類推してよいか。	公開情報の範囲で整理しつつ、合理的に類推可能な部分は類推してよい。
7	調査対象150件に既に終了済みのプロジェクトを含めてよいか。	終了済みのプロジェクト(実績のある事例)も対象として含めてよい。
8	プロジェクトの単位はどの粒度か。例えば、ムーンショット型研究開発制度の場合は、制度全体か、その中の個別課題単位か。	ムーンショット型研究開発制度の場合は、制度全体では大きすぎるので、その中の個別課題単位のイメージ。NEDO事業の場合は「基本計画」の単位のイメージ。